

2025年3月期 第1四半期 決算説明会

2024年8月7日

富士フイルム ホールディングス株式会社

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

FUJIFILM
Value from Innovation

2025年3月期 第1四半期

1 | 決算ハイライト及びトピックス

富士フイルムホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO **後藤禎一**

2 | 連結業績及び事業概況

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口昌之**

2025年3月期

3 | 連結業績予想

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口昌之**



2025年3月期 第1四半期 決算ハイライト及びトピックス



01

2025年3月期 第1四半期 決算ハイライト

2025年3月期 第1四半期 連結業績

(為替レート： 米ドル=156円， ユーロ=168円)

売上高

過去最高

7,490 億円

対前年 (↑ +13.4%)

営業利益

過去最高

622 億円

(↑ +19.1%)

当社株主帰属
四半期純利益

過去最高

607 億円

(↑ +11.6%)

- 売上高、営業利益、当社株主帰属四半期純利益はいずれも過去最高を更新
- 売上高は、イメージング、半導体材料及びメディカルシステムの販売好調や、為替影響により増収
- 営業利益は、販売好調のエレクトロニクス、イメージングが、一時費用増加等により減益となったヘルスケアをカバー、為替影響等も寄与し増益

2025年3月期 通期連結業績予想

(為替レート： 2-4Q 米ドル=145円 | 対前回+5円， ユーロ=160円 | 対前回+10円)
(為替レート： 通期 米ドル=148円 | 対前回+8円， ユーロ=162円 | 対前回+12円)

売上高

過去最高

31,500 億円

対前回予想(2024/5/9) (↑ +500億円)

営業利益

過去最高

3,150 億円

(↑ +150億円)

当社株主帰属
当期純利益

過去最高

2,500 億円

(↑ +100億円)

- 通期連結業績予想は、バイオCDMOの一時費用増加等によるヘルスケアの下方修正を、業績好調なエレクトロニクス及びイメージングの上方修正、及び、通期為替前提の見直し等でカバーし、売上高・営業利益・当社株主帰属当期純利益いずれも過去最高の更新を目指す
- 年間配当は、15期連続増配となる60円/株を予定

2025年3月期 第1四半期 決算トピックス

エレクトロニクス

3つの事業部門の統合と、当該ディビジョナル・ラボ*の統合を実施し、既存事業の利益を最大化させるとともに、エレクトロニクス領域の新規材料事業創出を強化・加速する

*ディビジョナル・ラボ：ビジネスに直結した研究開発を行う組織

統合の
狙い

① 既存事業の利益最大化

- ・各事業の人材・ビジネス資産を一元化し、近接領域での相乗効果を創出
- ・積極的な人材ローテーションによる強い人材の育成

② 新規材料事業創出の強化・加速

- ・各事業が持つコア技術・ビジネス構築力の知識・知見を共有化し、新規創出の総合力を強化

エレクトロニクス領域の
成長加速

変更前

エレクトロニクス

高機能材料戦略本部

開示セグメント名(売上高)

半導体材料

ディスプレイ材料

その他エレクトロニクス材料

産業機材

ファインケミカル

変更後 | 2024年6月末より

エレクトロニクス

エレクトロニクス戦略本部

開示セグメント名(売上高)

半導体材料

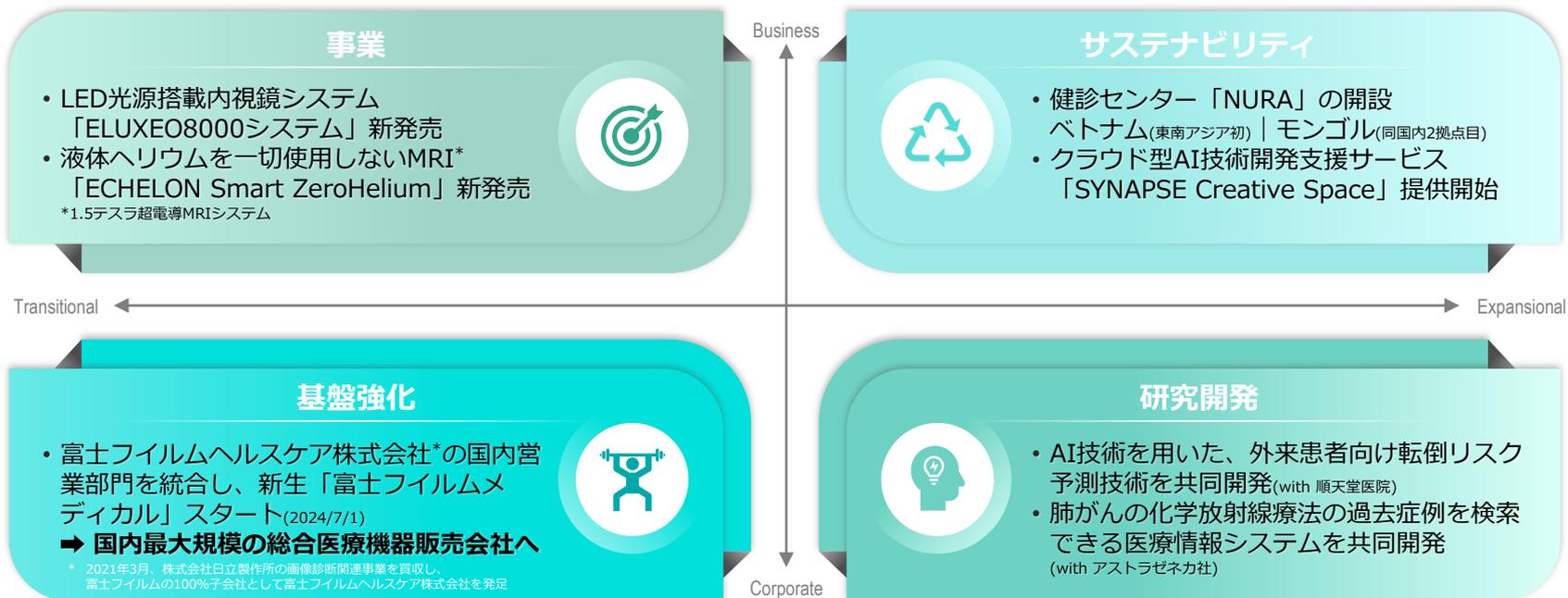
アドバンストファンクショナル
マテリアルズ (AF材料)

統合

2025年3月期 第1四半期 決算トピックス

メディカルシステム

独自技術を生かし、さまざまな医療現場のニーズに応える幅広い製品・サービスの提供を通じて、さらなる診断の効率化と医療の質の向上、人々の健康の維持・増進に貢献していく



2025年3月期 第1四半期 決算トピックス

ビジネスイノベーション

創業当初より環境保全の重要性を認識し、企業活動における環境負荷低減に取り組んできた当社は、高い省エネルギー性能とお客様の使いやすさを両立する環境技術開発を推進。今後も持続可能な未来の実現を目指す。

環境への取り組み

環境と採算を両立できるビジネスモデルの追求

- 1995年 ① 全社リサイクル方針「限りなく『廃棄ゼロ』を目指し、資源の再活用を推進する」を制定
- 1996年 ② 国内生産の複合機ヘリユースパーツの投入を開始
- 2000年 ③ 日本の業界初の廃棄ゼロ(再資源化率99.5%以上)を達成

2024年

1



Circular Manufacturing Centerをオランダに開設

欧州地域での資源循環を促進する生産拠点、トナーカートリッジの回収・再生からスタート

2024/5公表

2



環境問題や複合機技術を分かりやすく学び、サステナブルな地球の未来を探究する体験型施設「Green Park FLOOP」開設

2024/6公表

3



資源循環の促進に貢献する再生機「ApeosPort-VII C R」シリーズ発売

回収した使用済み商品から取り出した部品を再生技術によりリユース活用し、資源として循環させる「クローズド・ループ・システム」を推進

2024/7公表



2025年3月期 第1四半期 連結業績及び事業概況



02

2025年3月期 第1四半期 業績 (2024年4月～2024年6月)

(単位：億円)

	1Q				
	2024年3月期	2025年3月期	対前年度	為替影響	為替影響除く
売上高	6,608 100.0%	<small>過去最高</small> 7,490 100.0%	882 +13.4%	513	369 +5.6%
営業利益	522 7.9%	<small>過去最高</small> 622 8.3%	100 +19.1%	133	-33 -6.3%
税金等調整前四半期純利益	693 10.5%	717 9.6%	24 +3.5%	156	-132 -19.0%
当社株主帰属四半期純利益	544 8.2%	<small>過去最高</small> 607 8.1%	63 +11.6%	109	-46 -8.3%
EPS	45.22円	50.44円	5.22円	<その他増減要因（対前年度）> 営業利益における 原材料価格影響： -37億円 （半導体等の部材価格は含まず）	
為替 ：米ドル	138円	156円	18円安		
：ユーロ	150円	168円	18円安		

2025年3月期 第1四半期(2024年4月～2024年6月)

セグメント別 連結売上高 | 営業利益

(単位：億円)

売上高	1Q		対前年度		為替影響除く	
	2024年 3月期	2025年 3月期				
ヘルスケア	2,068	2,292	224	+10.8%	45	+2.2%
エレクトロニクス	791	1,091	300	+37.9%	222	+28.2%
ビジネスイノベーション	2,697	2,800	103	+3.9%	-38	-1.4%
イメージング	1,052	1,307	255	+24.2%	140	+13.2%
合計	6,608	7,490	882	+13.4%	369	+5.6%

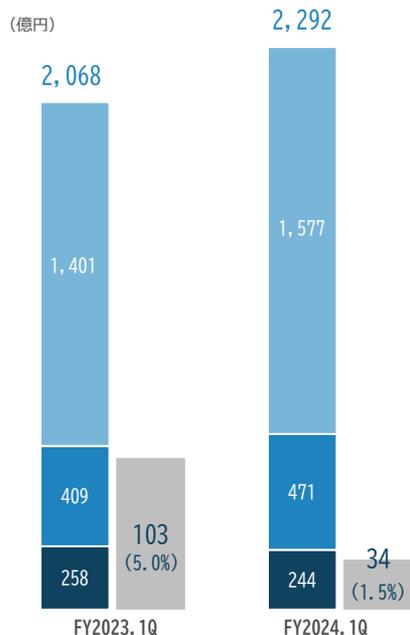
営業利益	1Q		対前年度		為替影響除く	
	2024年 3月期	2025年 3月期				
ヘルスケア	103	34	-69	-67.1%	-105	-101.5%
エレクトロニクス	98	201	103	2.1倍	79	+80.8%
ビジネスイノベーション	166	144	-22	-12.9%	-42	-24.9%
イメージング	234	325	91	+38.9%	37	+16.1%
全社/連結調整	-79	-82	-3		-2	
合計	522	622	100	+19.1%	-33	-6.3%

* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。
また、それに伴いセグメント単位での一体運営が進んだ状態を鑑み、各セグメントの売上高及び営業利益をセグメント間取引消去後の金額に変更しております。
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

2025年3月期 第1四半期(2024年4月～2024年6月)

セグメント別概況：ヘルスケア

対前年比
売上高 $\uparrow +10.8\%$ 営業利益 $\downarrow -67.1\%$



売上高は、メディカルシステム、バイオCDMOにおいて増収。営業利益は、バイオCDMOの中小型設備を対象とした構造改革費用や、米テキサス拠点での商用製造拡大に向けた体制強化費用等の計上により減益

メディカルシステム

売上高 **1,577** 億円 (対前年 **+12.6**%)

- 内視鏡、CT/MRI等の販売が好調に推移し、増収。内視鏡では、米国・欧州等の主要市場で販売が伸長。CT/MRIでは、米国・欧州・中南米での販売が好調に推移
- 富士フイルムヘルスケア株式会社の国内営業部門を統合、新生「富士フイルムメディカル」スタート

バイオCDMO

*収益性：28ページ参照

売上高 **471** 億円 (対前年 **+15.2**%)

- 大型製造設備では、抗体医薬品の製造受託がデンマーク拠点にて堅調に推移
- 市況停滞の影響を受けている中小型製造設備では、2024年度第1四半期に計画通り構造改革を実施し、需要状況に応じた生産体制を再構築
- 米テキサス拠点の中小型製造設備において、需要増が見込まれる商用品の製造受託拡大に向け、レギュラトリー対応力向上を目的とした品証システム強化策や安定生産実現のためのシステムアップグレード等のため、設備の一時停機を実施。それに伴う稼働損や対応費用を計上

LSソリューション

売上高 **244** 億円 (対前年 **-5.7**%)

- ライフサイエンスは、培地の前年同期における、原材料需給ひっ迫問題の改善に伴う出荷増の反動による減収を、販売が好調だった細胞の増収等でカバーし、前年並みを維持
- コンシューマーヘルスケアは、市場全体が停滞したサプリメントの販売減少等により、減収

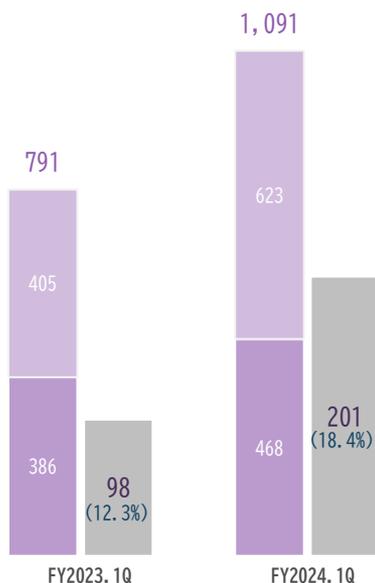
■ | メディカルシステム
■ | バイオCDMO
■ | LSソリューション
■ | 営業利益(率)

2025年3月期 第1四半期(2024年4月～2024年6月)

セグメント別概況：エレクトロニクス

対前年比
売上高 営業利益
↑ +37.9% ↑ 2.1倍

(億円)



■ 半導体材料 ■ 営業利益(率)
■ AF材料

売上高は、半導体材料の市況回復や買収した半導体用プロセスケミカルの販売寄与に加え、AF材料におけるOLED向け材料の販売好調により増収。営業利益は、増収に伴い大幅増益

半導体材料

売上高 623 億円 (対前年 +53.6%)

- 先端向けがけん引する半導体市場の市況回復に加え、2023年10月に米国Entegris社から買収を完了した半導体用プロセスケミカルの販売が寄与し、売上は大幅に増加
- 6月には、イメージセンサー用カラーフィルター材料の生産能力拡大と現地生産化に向けて韓国平澤市に新工場を竣工。今後も積極的な設備投資を継続、強固なグローバル製造体制を構築

AF材料*

売上高 468 億円 (対前年 +21.4%)

- 6月に、ディスプレイ材料事業、産業機材事業、ファインケミカル事業を統合し、アドバンストファンクショナルマテリアルズ事業部を設立
- OLED向け反射防止材料等の受注が好調により大幅増収

* ディスプレイ材料、その他エレクトロニクス材料を「AF材料」へ統合して表示しています。

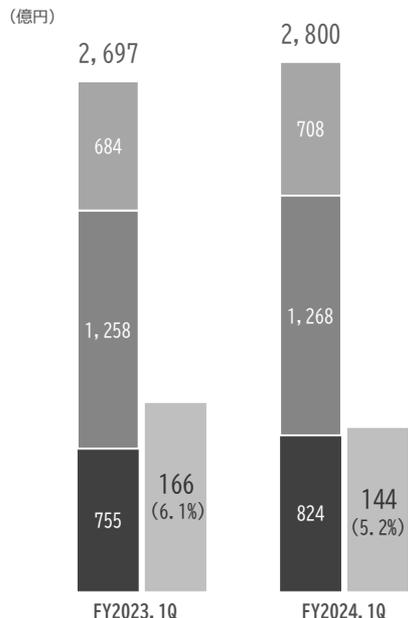
* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

2025年3月期 第1四半期(2024年4月～2024年6月)

セグメント別概況：ビジネスイノベーション

売上高は、DX関連ソリューション、インクジェットヘッド等の販売増加により増収。
営業利益は、新製品等の開発経費や人件費の増加等の影響により減益

対前年比
売上高 ↑+3.9%
営業利益 ↓-12.9%



- | ビジネスソリューション
- | オフィスソリューション
- | グラフィックコミュニケーション
- | 営業利益(率)

ビジネスソリューション

売上高 708 億円 (対前年 +3.5%)

- DX関連ソリューションの販売が増加したこと等により、増収
- 中堅・中小企業の柔軟な働き方を支援するセキュアな無線ネットワークサービス「beat air」を提供開始。IT人材が不足するお客様に代わり、IT環境の構築と運用管理を行うことで、オフィス環境構築をサポート

オフィスソリューション

売上高 1,268 億円 (対前年 +0.7%)

- 在庫調整が進んだ欧米向け消耗品の輸出増等により、増収
- コニカミノルタ株式会社と原材料および部材調達の連携を図る合併会社の設立を決定し、7月8日に株主間協定書を締結。両社が保有する幅広いサプライヤーネットワークを活用し、商品の強固な供給体制の構築や業務プロセスの効率化など、事業基盤の強化を推進

グラフィックコミュニケーション

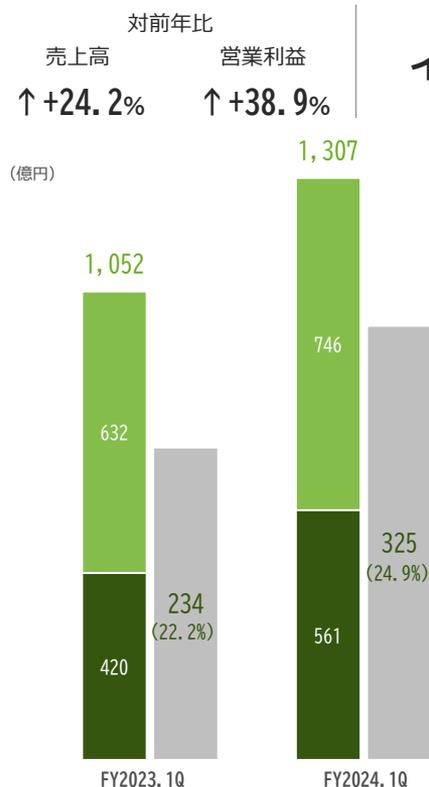
売上高 824 億円 (対前年 +9.4%)

- 米国向け刷版の販売増に加え、欧米向けのデジタルプリンターの販売増、セラミック市場・商業印刷市場向けのインクジェットヘッドの販売増等により、増収
- 世界最大級の国際印刷・メディア産業展“drupa 2024”において、オフセット印刷からデジタル印刷、印刷ワークフローに関するDXソリューションまでの様々なラインナップを展示し、グループの総合力を全世界へ訴求

* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

2025年3月期 第1四半期(2024年4月～2024年6月)

セグメント別概況：イメージング



インスタントフォトシステムやデジタルカメラの販売が好調に推移し、大幅な増収・増益

コンシューマーイメージング

売上高 746 億円 (対前年 +17.8%)

- インスタントフォトシステムinstaxの販売が好調に推移し、売上が増加
- 7月にワイドフォーマットのアナログインスタントカメラ「instax WIDE 400」の発売に加え、音声メッセージを録音できる機能を有するハイブリッドインスタントカメラ「instax mini LiPlay」をリニューアル
- 5月にフランス・パリで行われたブレイキングの国際大会「Undisputed Masters」や、同月日本で西武ライオンズが主催するイベント「ライオンズコレクション」で、instax Biz を使った撮影会を開催するなど、BtoB 向けビジネスを展開

プロフェッショナルイメージング

売上高 561 億円 (対前年 +33.8%)

- デジタルカメラは、前年度に発売したモデルを中心に販売が好調に推移
- 6月に「GFXシリーズ」の最新モデル「FUJIFILM GFX100S II」および「Xシリーズ」の最新モデル「FUJIFILM X-T50」と、レンズ2本を発売

- | コンシューマーイメージング
- | プロフェッショナルイメージング
- | 営業利益(率)

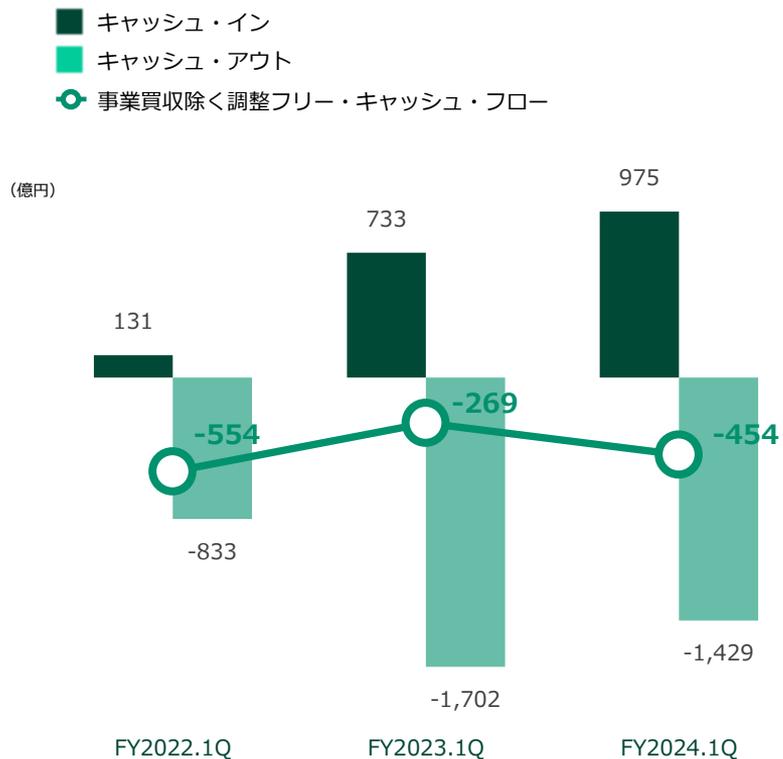
2025年3月期 第1四半期(2024年4月～2024年6月)

連結貸借対照表

					(単位：億円)				
	23年 3月期末	24年 3月期末	25年3月期 6月末	対24年 3月期末		23年 3月期末	24年 3月期末	25年3月期 6月末	対24年 3月期末
現金及び現金同等物	2,686	1,797	1,953	156	長短社債及び借入金	3,762	5,028	5,806	778
受取債権	6,331	6,966	6,892	-74	支払債務	3,204	3,465	3,698	233
棚卸資産	5,673	5,478	6,006	528	その他流動・固定負債	6,498	7,609	7,514	-95
その他流動資産	1,621	1,506	1,679	173	負債計	13,464	16,102	17,018	916
流動資産計	16,311	15,747	16,530	783	株主資本計	27,631	31,692	33,716	2,024
有形固定資産	9,761	13,957	15,530	1,573	非支配持分	248	41	42	1
営業権	8,583	9,538	9,863	325	純資産計	27,879	31,733	33,758	2,025
その他固定資産	6,688	8,593	8,853	260	負債・純資産合計	41,343	47,835	50,776	2,941
固定資産計	25,032	32,088	34,246	2,158					
資産合計	41,343	47,835	50,776	2,941					
					(単位：円)				
					期末日 為替レート	23年 3月期末	24年 3月期末	25年3月期 6月末	対24年 3月期末
					米ドル	134	151	161	10円安
					ユーロ	146	163	172	9円安

2025年3月期 第1四半期(2024年4月～2024年6月)

連結キャッシュ・フロー



(単位：億円)

	FY2022 1Q	FY2023 1Q	FY2024 1Q
当期純利益	414	534	609
減価償却費	351	360	397
営業債権等の増(-)減(+)	211	521	526
棚卸資産の増(-)減(+)	-625	-393	-345
営業債務等の増(+)減(-)	-73	-64	124
運転資本の増(+)減(-)	-487	64	305
その他	-147	-225	-336
キャッシュ・イン	131	733	975
設備投資(有形固定資産)	-498	-879	-1,186
設備投資(ソフト、レンタル資産他)	-187	-123	-243
事業の買収	-148	-700	-
キャッシュ・アウト	-833	-1,702	-1,429
調整フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	-702	-969	-454
事業買収を除く調整FCF*	-554	-269	-454

*調整フリー・キャッシュ・フローから、事業買収を控除しています。



2025年3月期 連結業績予想

03

2025年3月期 通期連結業績予想

(単位：億円)

	2024年3月期	2025年3月期 前回予想 (2024/5/9公表値)	2025年3月期 今回予想	対前年度	対前回予想
売上高	29,609 100%	31,000 100%	過去最高 31,500 100%	1,891 +6.4%	500 +1.6%
営業利益	2,767 9.3%	3,000 9.7%	過去最高 3,150 10.0%	383 +13.8%	150 +5.0%
税金等調整前当期純利益	3,173 10.7%	3,100 10.0%	過去最高 3,300 10.5%	127 +4.0%	200 +6.5%
当社株主帰属当期純利益	2,435 8.2%	2,400 7.7%	過去最高 2,500 7.9%	65 +2.7%	100 +4.2%
EPS	202.29円	199.32円	* 207.63円	+5.34円	+8.31円
ROE	8.2%	7.8%	7.8%	-0.4pt	-
ROIC	5.6%	5.4%	5.4%	-0.2pt	-
CCC	116日	115日	115日	-1日	-
* 為替	: 米ドル	145円	140円	3円安	8円安
	: ユーロ	157円	150円	5円安	12円安
銀価格 (/kg)	109,000円	112,000円	151,000円	+42,000円	+39,000円

* 為替レート： 2-4Q 米ドル=145円 | 対前回+5円, ユーロ=160円 | 対前回+10円
通期 米ドル=148円 | 対前回+8円, ユーロ=162円 | 対前回+12円

* EPS(1株当たり当社株主帰属当期純利益)の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年6月30日現在の発行株式数(自己株式数を除く)を使用しています。

セグメント別業績予想

(単位：億円)

売上高	2024年3月期	2025年3月期 前回予想 (2024/5/9公表値)	2025年3月期 今回予想	対前回予想		為替影響除く	
ヘルスケア	9,751	10,100	10,100	-	-	-280	-2.8%
エレクトロニクス	3,584	4,100	4,200	100	2.4%	-	-
ビジネスイノベーション	11,577	12,000	12,100	100	0.8%	-30	-0.3%
イメージング	4,697	4,800	5,100	300	6.3%	160	3.3%
合計	29,609	31,000	31,500	500	1.6%	-150	-0.5%

(単位：億円)

営業利益	2024年3月期	2025年3月期 前回予想 (2024/5/9公表値)	2025年3月期 今回予想	対前回予想		為替影響除く	
ヘルスケア	974	1,120	1,000	-120	-10.7%	-170	-15.2%
エレクトロニクス	463	570	720	150	26.3%	120	21.1%
ビジネスイノベーション	674	730	730	-	-	-10	-1.4%
イメージング	1,020	1,000	1,120	120	12.0%	60	6.0%
全社/連結調整	-364	-420	-420	-	-	-	-
合計	2,767	3,000	3,150	150	5.0%	-	-

* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。また、それに伴いセグメント単位での一体運営が進んだ状態を鑑み、各セグメントの売上高及び営業利益をセグメント間取引消去後の金額に変更しております。本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリセットしています。



2025年3月期 第1四半期 決算 参考資料



04

1Q 業績：ヘルスケア

(単位：億円)

売上高	1Q					
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度		為替影響除く	
メディカルシステム	1,401	1,577	176	+12.6%	64	+4.6%
バイオCDMO	409	471	62	+15.2%	9	+2.4%
LSソリューション	258	244	-14	-5.7%	-28	-11.3%
合計	2,068	2,292	224	+10.8%	45	+2.2%

営業利益 [営業利益率]	1Q					
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度		為替影響除く	
ヘルスケア	103 [5.0%]	34 [1.5%]	-69	-67.1%	-105	-101.5%

* セグメント単位での一体運営が進んだ状態を鑑み、各セグメントの売上高及び営業利益をセグメント間取引消去後の金額に変更しております。
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

1Q 業績：エレクトロニクス

(単位：億円)

売上高	1Q				
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度		為替影響除く
半導体材料	405	623	218	+53.6%	154 +37.9%
AF材料	386	468	82	+21.4%	68 +17.9%
合計	791	1,091	300	+37.9%	222 +28.2%

営業利益 [営業利益率]	1Q				
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度		為替影響除く
エレクトロニクス	98 [12.3%]	201 [18.4%]	103	2.1倍	79 +80.8%

* ディスプレイ材料、その他エレクトロニクス材料を「AF材料」へ統合して表示しています。

* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。
また、それに伴いセグメント単位での一体運営が進んだ状態を鑑み、各セグメントの売上高及び営業利益をセグメント間取引消去後の金額に変更しております。
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

1Q 業績：ビジネスイノベーション

(単位：億円)

売上高	1Q					
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度		為替影響除く	
ビジネスソリューション	684	708	24	+3.5%	0	0.1%
オフィスソリューション	1,258	1,268	10	+0.7%	-44	-3.6%
グラフィックコミュニケーション	755	824	69	+9.4%	6	1.0%
合計	2,697	2,800	103	+3.9%	-38	-1.4%

営業利益 [営業利益率]	1Q					
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度		為替影響除く	
ビジネスイノベーション	166 [6.1%]	144 [5.2%]	-22	-12.9%	-42	-24.9%

* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。また、それに伴いセグメント単位での一体運営が進んだ状態を鑑み、各セグメントの売上高及び営業利益をセグメント間取引消去後の金額に変更しております。本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリセットしています。

1Q 業績：イメージング

(単位：億円)

売上高	1Q				
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度		為替影響除く
コンシューマーイメージング	632	746	114	+17.8%	42 +6.4%
プロフェッショナルイメージング	420	561	141	+33.8%	98 +23.5%
合計	1,052	1,307	255	+24.2%	140 +13.2%

営業利益 [営業利益率]	1Q				
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度		為替影響除く
イメージング	234 [22.2%]	325 [24.9%]	91	+38.9%	37 +16.1%

* セグメント単位での一体運営が進んだ状態を鑑み、各セグメントの売上高及び営業利益をセグメント間取引消去後の金額に変更しております。
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

営業利益増減分析(1Q実績 対前年実績)

(単位：億円)

	1Q		対前年度	為替	原材料価格	一時費用	オペレーション等
	2024年 3月期	2025年 3月期					
ヘルスケア	103	34	-69 -67.1%	36	-14	-64	-27
*4 エレクトロニクス	98	201	103 2.1倍	24	-4	-7	90
ビジネスイノベーション	166	144	-22 -12.9%	20	-14	-5	-23
イメージング	234	325	91 +38.9%	54	-5	4	38
全社/連結調整	-79	-82	-3 -	-1	-	-	-2
合計	522	622	100 +19.1%	*1 133	*2 -37	*3 -72	76

*3：一時費用明細

(単位：億円)

*1：為替レート

	2024年 3月期 1Q	2025年 3月期 1Q
米ドル	138円	156円
ユーロ	150円	168円

*2：原材料別(半導体影響は除く)

	通期
銀	-23
アルミ	-13
他(燃料等)	-1
合計	-37

	2024年 3月期 1Q	2025年 3月期 1Q	差異
ヘルスケア	59	123	-64
体質強化費用(CDMO)	-	50	-50
米テック拠点における商用製造体制強化(CDMO)	-	60	-60
FHC国内営業部門統合費用(メディカル)	-	13	-13
棚卸資産評価減(CDMO/LS)	50	-	50
その他	9	-	9
エレクトロニクス	-	7	-7
新規買収会社(半導体材料)	-	7	-7
ビジネスイノベーション	6	11	-5
係争費用他(グライツク/インクジェット)	-	8	-8
体質強化費用等(グライツク/インクジェット)	-	2	-2
その他	6	1	5
イメージング	5	1	4
体質強化費用等	5	1	4
全社	-	-	-
合計	70	142	-72

*4 グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

2025年3月期 通期連結業績予想

事業別売上高

(単位:億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 前回予想(2024/5/9)	2025年3月期 予想	対前年度	対前年度 %	対前回予想	対前回予想 %
ヘルスケア	9,751	10,100	10,100	349	+3.6%	-	-
メディカルシステム	6,596	6,700	6,900	304	+4.6%	200	+3.0%
バイオCDMO	2,034	2,150	2,000	-34	-1.7%	-150	-7.0%
LSソリューション	1,121	1,250	1,200	79	+7.1%	-50	-4.0%
エレクトロニクス	3,584	4,100	4,200	616	+17.2%	100	+2.4%
半導体材料	1,997	2,400	2,450	453	+22.7%	50	+2.1%
* AF材料	1,587	1,700	1,750	163	+10.3%	50	+2.9%
ビジネスイノベーション	11,577	12,000	12,100	523	+4.5%	100	+0.8%
ビジネスソリューション	3,018	3,300	3,300	282	+9.4%	-	-
オフィスソリューション	5,243	5,300	5,350	107	+2.0%	50	+0.9%
* グラフィックコミュニケーション	3,316	3,400	3,450	134	+4.0%	50	+1.5%
イメージング	4,697	4,800	5,100	403	+8.6%	300	+6.3%
コンシューマーイメージング	2,976	2,950	3,100	124	+4.2%	150	+5.1%
プロフェッショナルイメージング	1,721	1,850	2,000	279	+16.2%	150	+8.1%
合計	29,609	31,000	31,500	1,891	+6.4%	500	+1.6%
為替							
米ドル	145円	140円	148円	3円安		8円安	
ユーロ	157円	150円	162円	5円安		12円安	

* ディスプレイ材料、その他エレクトロニクス材料を「AF材料」へ統合して表示しています。

* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2024年3月期の情報をリステートしています。

営業利益増減分析(通期業績予想 対前回業績予想)

(単位：億円)

	通期		対前回予想		為替	原材料価格	一時費用	オペレー ション等
	前回予想 (2024/5/9)	今回予想 (2024/8/7)						
ヘルスケア	1,120	1,000	-120	-10.7%	50	-50	-80	-40
エレクトロニクス	570	720	150	26.3%	30	-10	20	110
*4 ビジネスイノベーション	730	730	-	-	10	-40	10	20
イメージング	1,000	1,120	120	12.0%	60	-20	20	60
全社/連結調整	-420	-420	-	-	-	-	-	-
合計	3,000	3,150	150	5.0%	*1 150	*2 -120	*3 -30	150

*1：為替レート

	前回予想 2024/5/9	今回予想 2024/8/7
米ドル	140円	148円
ユーロ	150円	162円

*2：原材料別(半導体影響は除く)

	通期
銀	-80
アルミ	-40
他(燃料等)	-
合計	-120

*3：一時費用明細

(単位：億円)

	前回予想 (2024/5/9)	今回予想 (2024/8/7)	差異
ヘルスケア	75	155	-80
体質強化費用(CDMO)	50	50	-
米子村/拠点における商用製造体制強化(CDMO)	-	130	-130
FHC国内営業部門統合費用(メディカル)	13	13	-
遊休資産売却他	12	-38	50
エレクトロニクス	45	25	20
新規買収会社(半導体材料)	30	30	-
体質強化費用等(半導体材料/AF材料)	15	15	-
遊休資産売却他	-	-20	20
ビジネスイノベーション	45	35	10
体質強化費用等(グラフィック/インクジェット)	20	20	-
係争費用他(グラフィック/インクジェット)	25	25	-
遊休資産売却他	-	-10	10
イメージング	15	-5	20
体質強化費用等	15	15	-
遊休資産売却他	-	-20	20
全社	-	-	-
合計	180	210	-30

※4 グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

バイオCDMO収益性(1Q実績 対前年実績、通期業績予想 対前回業績予想)

一時費用除く収益性は、1Qは前年度並み、通期は中小型製造設備の体質強化効果により改善、黒字化を見込む

(単位：億円)

バイオCDMO	1Q			通期		
	2024年 3月期	2025年 3月期	対前年度	前回予想 (2024/5/9)	今回予想 (2024/8/7)	対前回予想
売上高	409	471	62	2,150	2,000	-150
棚卸資産評価減	-30		30			0
体質強化費用		-50	-50	-50	-50	0
米子拠点における商用製造体制強化		-60	-60		-130	-130
一時費用合計	-30	-110	-80	-50	-180	-130
一時費用除くEBITDAマージン	10%台半ば	10%台半ば	-	10%台後半	10%台後半	-
内) 大型製造設備	約30%	約30%	-	約30%	約30%	-
内) 中小型製造設備	マイナス一桁%	マイナス一桁%	-	一桁%半ば	一桁%半ば	-

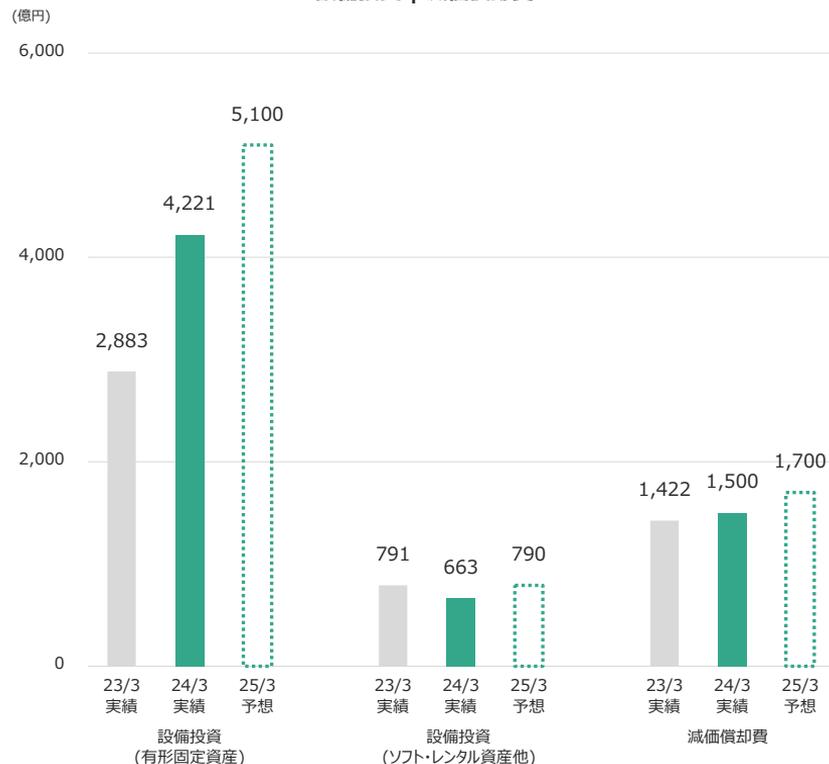
国内・海外別連結売上高

(単位：億円)

	2024年3月期 1Q		2025年3月期 1Q		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	36.2%	2,391	31.9%	2,391	0	+0.0%
米州	22.2%	1,465	20.8%	1,555	90	+6.1%
欧州	13.6%	899	17.9%	1,338	439	+48.7%
内、中国	14.4%	953	15.7%	1,178	225	+23.6%
アジア他	28.0%	1,853	29.4%	2,206	353	+19.1%
海外	63.8%	4,217	68.1%	5,099	882	+20.9%
合計	100.0%	6,608	100.0%	7,490	882	+13.4%

設備投資 | 減価償却費

設備投資 | 減価償却費

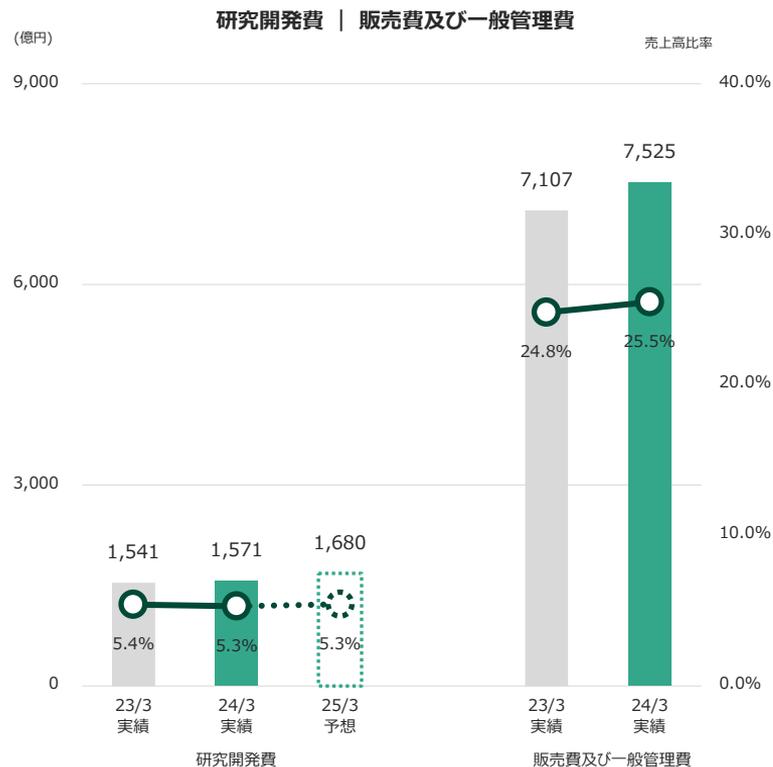


(単位：億円)

年度	1Q		通期	
	2024年 3月期	2025年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (予想)
ヘルスケア	763	1,012	3,473	3,950
エレクトロニクス	47	85	362	620
ビジネスイノベーション	42	56	272	330
イメージング	23	30	101	180
コーポレート	4	3	13	20
設備投資(有形固定資産)	879	1,186	4,221	5,100
ヘルスケア	38	37	142	120
エレクトロニクス	2	2	20	20
ビジネスイノベーション	71	191	414	500
イメージング	6	9	49	70
コーポレート	7	4	38	80
設備投資(ソフト、レンタル資産他)	124	243	663	790
ヘルスケア	132	146	568	630
エレクトロニクス	56	76	258	330
ビジネスイノベーション	116	127	483	510
イメージング	34	41	148	170
コーポレート	22	7	43	60
減価償却費	360	397	1,500	1,700

* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリスタートしています。

研究開発費 | 販売費及び一般管理費



	1Q		通期	
	2024年 3月期	2025年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (予想)
ヘルスケア	133	148	557	
エレクトロニクス	65	69	264	
ビジネスイノベーション	135	137	539	
イメージング	27	27	111	
コーポレート	28	23	100	
研究開発費	386	403	1,571	1,680
<売上高比>	5.8%	5.4%	5.3%	5.3%
販売費及び一般管理費	1,724	2,060	7,525	
<売上高比>	26.1%	27.5%	25.5%	

* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。
本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

為替 | 原材料 | 人員

為替(平均) | 原材料価格(平均)

単位		2024年3月期					2025年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2-4Q	通期
米ドル	円/ドル	138	145	148	149	145	156	145	148
ユーロ	円/ユーロ	150	157	159	161	157	168	160	162
銀	千円/kg	106	110	111	110	109	143	155	151

為替感応度：1円の変動による影響(年間) 最終更新日：2024/4/17

		売上高	営業利益
米ドル	1円あたり	+50 億円	+10 億円
ユーロ	1円あたり	+15 億円	+ 8 億円

人員

単位		2023.3末	2023.6末	2023.9末	2023.12末	2024.3末	2024.6末
連結	人	73,878	73,583	72,909	72,950	72,254	72,972

参考情報

■ 富士フイルムホールディングス 株主・投資家情報

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>

■ 富士フイルムホールディングス 統合報告書2023

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>

■ IR資料室

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html>

■ 富士フイルムグループ事業概要

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/business-overview.html>

■ 富士フイルムグループ90周年特設サイト

<https://holdings.fujifilm.com/special/90th/ja/>

FUJIFILM
Value from Innovation



富士フイルムグループパーパス

地球上の笑顔の回数を増やしていく。

わたしたちは、多様な「人・知恵・技術」の融合と独創的な発想のもと、
様々なステークホルダーと共にイノベーションを生み出し、世界をひとつずつ変えていきます。

富士フイルムホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部

<https://holdings.fujifilm.com/ja>

FUJIFILM
Value from Innovation

2024年8月9日



today

2025年3月期 第1四半期 決算発表

2024年9月24日 17時～



ビジネスイノベーション 事業説明会

2024年11月7日



2025年3月期 第2四半期 決算発表

決算短信開示予定時刻：14時を予定 (現状は15時)

【目的】

- ・ 取締役会における承認決議後の速やかな開示
- ・ 市場参加者の取引機会の拡大